

# 令和6年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補** ・ 県単

## 1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]			<b>事業箇所</b>	甲府市大津町	<b>地区名</b>	(主) 甲府中央右左口線 (リニア駅アクセス道路)	<b>事業主体</b>	山梨県
<b>計画期間</b>	当初計画	現計画	変更計画	<b>④特記事項 (関連事業概要等)</b> ・ (主) 甲府中央右左口線 (メイン通り2号線) R6~R9 L=500m W=17.25(28.25)m ・ リニア中央新幹線整備 (東海旅客鉄道株式会社) ・ (仮称) 甲府中央スマートIC整備 (中日本高速道路株式会社)					
	R2~R6	—	R2~R10						
<b>総事業費</b>	700 百万円	— 百万円	2,420 百万円	<b>⑤これまでの評価状況</b> ・ なし					
<b>(1) 事業の概要</b>									
<b>①事業目的及び効果</b>				<b>(2) 事業位置図等</b> 					
リニア中央新幹線開業に向けて、メイン通り2号線やスマートICの整備が進められているが、リニア開業後は、駅へのアクセス道路として周辺の生活道路に大きな負荷がかかることが予想され、地域住民の交通や歩行者等の安全確保が課題となる。 駅周辺には大里小学校や公共施設があることから、地元からは駅周辺の生活道路について安全で快適な道路の整備を強く求められており、本事業においてリニア駅周辺整備事業と連携し整備を行っていく必要がある。									
<b>□主要目標</b> ○歩行者等の安全性の確保 ・ 歩行者・自転車交通量：32人台/12h(事前評価時点) < 80人台/12h以上※ ・ 自動車交通量：2,058台/12h(事前評価時点) < 3,340台/12h以上 ※ ・ 小学校からの距離：0.6km < 概ね1km以内 ※ ・ 現況の歩道幅員：歩道なし < 1.4m未満 ※				※評価基準値					
<b>□副次目標</b> ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上									
<b>□副次効果</b> ○重要プロジェクトとしての位置づけ ○バリアフリー化の促進									
<b>②事業概要</b>				道路改良 L=860m W=5.5 (14.0) m					
<b>③全体計画</b>									
		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降					
<b>現計画</b>	<b>工事内容</b>	測量及び道路設計 用地取得・補償 道路改良工 河川付替工	道路改良工 河川付替工	-					
	<b>事業費</b>	500 百万円	200 百万円	- 百万円					
<b>変更計画</b>	<b>工事内容</b>	測量及び道路設計 用地取得・補償 道路改良工	道路改良工 河川付替工	道路改良工 河川付替工 舗装工					
	<b>事業費</b>	566 百万円	130 百万円	1,724 百万円					

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

## 2.評価シート（1）

### （1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

#### ①地域・住民の意向状況

- ・変化なし

#### ②産業・経済情勢

- ・リニア中央新幹線の2027年開業を断念（東海旅客鉄道株式会社）

#### ③国等の方針

- ・変化なし

#### ④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）
- ・「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和6年3月改定）

#### ⑤自然環境条件等

- ・変化なし

#### ⑥その他

- ・変化なし

### （2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		700	百万円	2,420	百万円
工 期		R2～R6		R2～R10	
評価基準年		R2		R6	
経 済 効 率 性	費用	664	百万円	2,210	百万円
	建設費	582	百万円	2,128	百万円
	維持管理費	82	百万円	82	百万円
	その他( )	0	百万円	0	百万円
	便益	805	百万円	2,547	百万円
	走行時間短縮	674	百万円	1,830	百万円
	走行費用減少	88	百万円	498	百万円
	交通事故減少	1	百万円	156	百万円
	その他※	42	百万円	63	百万円
	B/C		1.2		1.2

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

### （3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率  
別表のとおり。  
R6年度進捗率(現計画)100.0%→(実績)99.5%→(変更計画)28.8%

②進捗率実績が計画と相違している理由  
一級河川流川の付替えにあたり、河川渡河部の埋設ガス管が計画の支障となることが判明したため、ガス事業者や河川管理者との構造協議に時間を要したことによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
河川付替工	970 百万円 増	関係機関協議により、以下のとおり構造変更したため ・側道渡河部 橋梁→ボックスカルバートに変更 ・河川一般部 護岸工→U型水路工に変更
地盤改良工	400 百万円 増	地質調査の結果から軟弱地盤対策を追加したため
補償費	350 百万円 増	施工計画検討の結果、補償対象物件が増加したため
合計	1,720 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定  
一級河川流川の付替えに伴う関係機関調整に時間を要し、付替工事自体も3濁水期を要することから、工期を4年延長する。なお、道路改良区間は、計画的に工事を進めており、令和10年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点  
適切な工程管理のもと、計画とおり工事を進捗させる。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続 (見直し継続) ・ その他 ( )

(理由)  
リニア山梨県駅周辺は、リニア開業後に交通集中が予想され、地域住民の生活や歩行者等の安全を確保するため重要な事業である。  
本事業は、令和5年度末時点で用地取得100%となっており、地域の理解を得られていることから、事業費と工期を見直し、令和10年度の完成を予定している。

〇別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

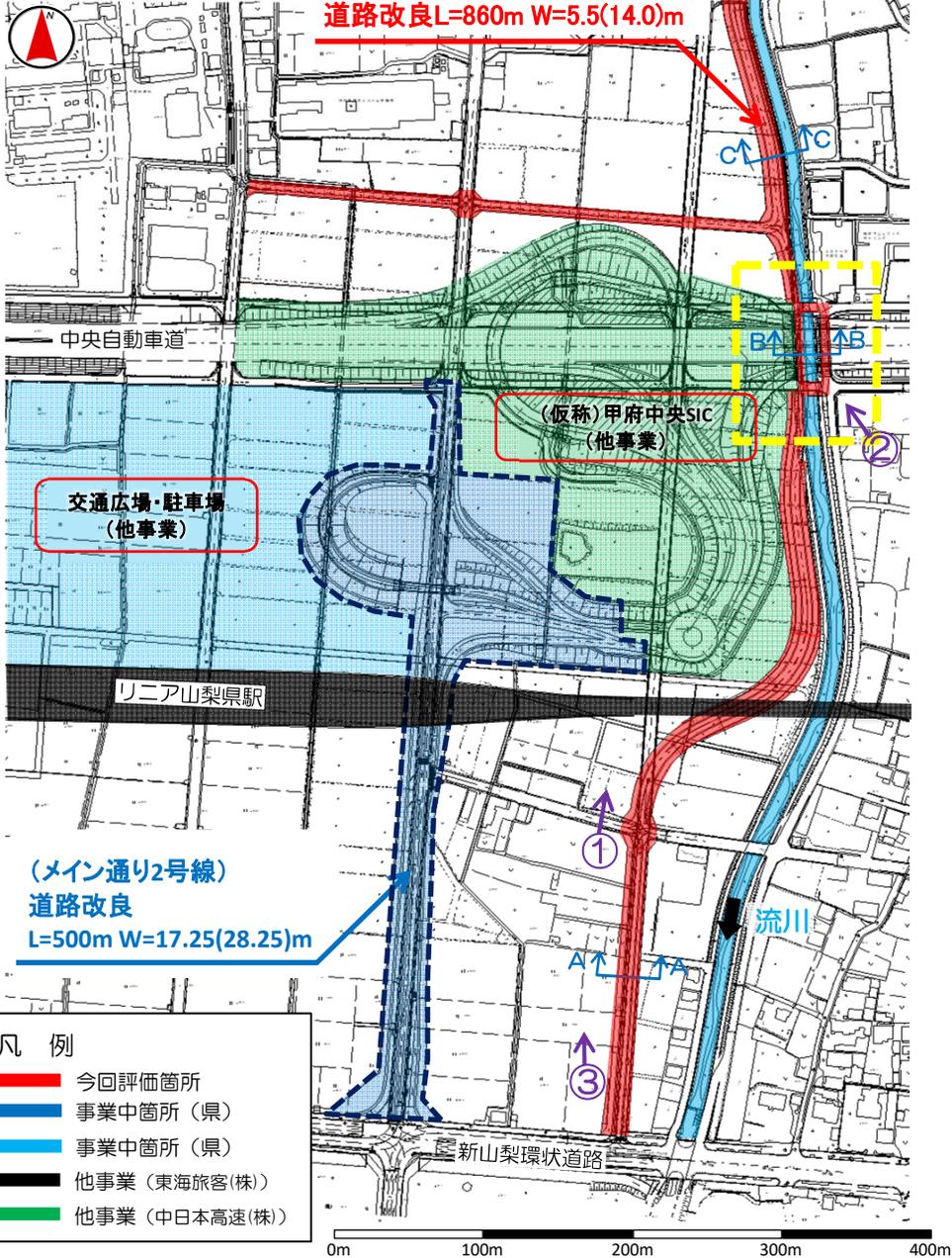
	年度	*R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9	R10
現	計画	7.1	28.6	42.9	71.4	100.0				
	実績	2.0	23.9	48.6	81.0	99.5				
変更計画						28.8	63.6	80.6	91.7	100.0

\*事業着手年度又は評価年度

\*R6年度の実績は見込み

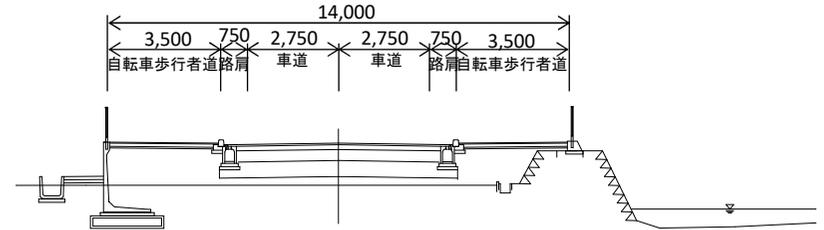
### 3. 添付資料シート (1)

平面図

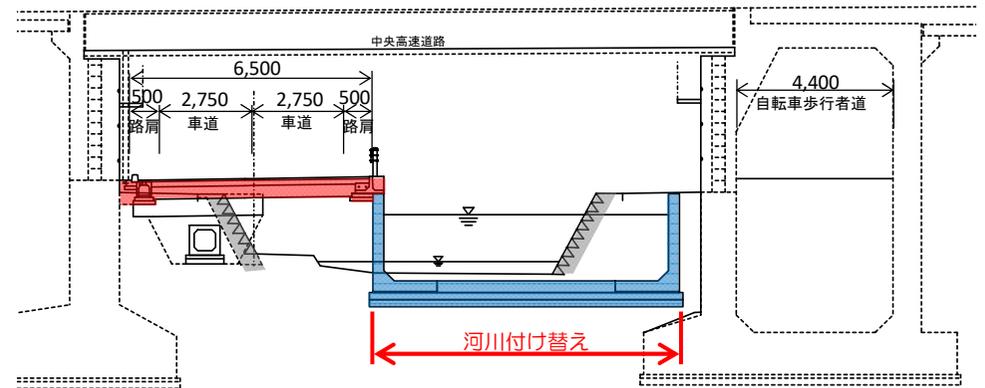


標準横断面図

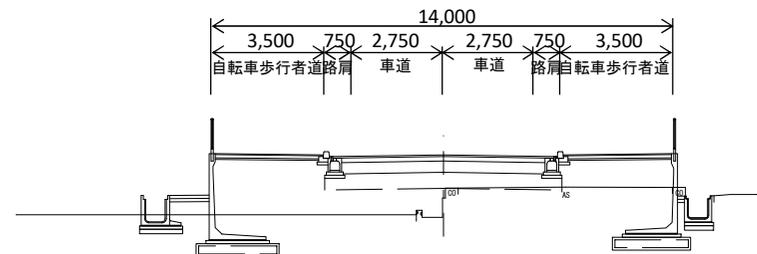
中央自動車道北側区間  
(C-C断面)



中央自動車道交差区間  
(B-B断面)



中央自動車道南側区間  
(A-A断面)

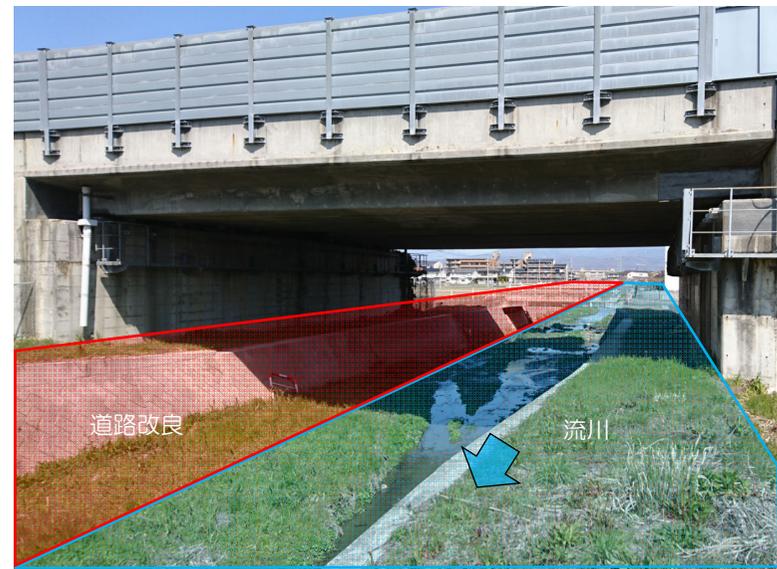


### 3. 添付資料シート (2)

①スマートIC建設予定地付近



②中央自動車道交差箇所



③施工状況写真 (中央道南側区間)



④施工状況写真 (中央道北側区間)

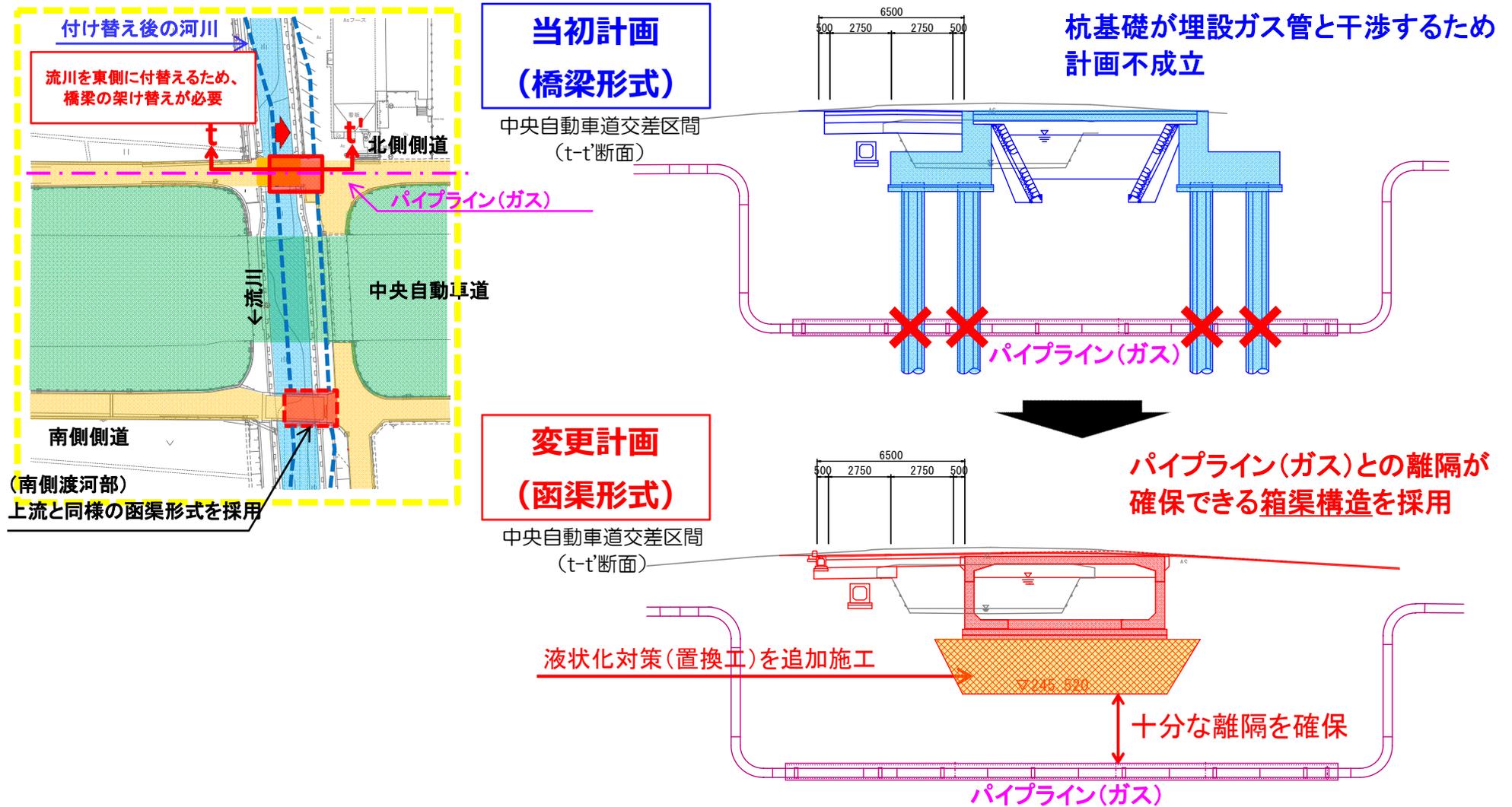


### 3. 添付資料シート (3)

#### 変更内容① 流川付け替えにかかる工事費の増額

##### (1) 側道渡河部の構造変更

パイプライン（ガス）が支障になることが判明したため、橋梁を 函渠構造（ボックスカルバート）に変更した

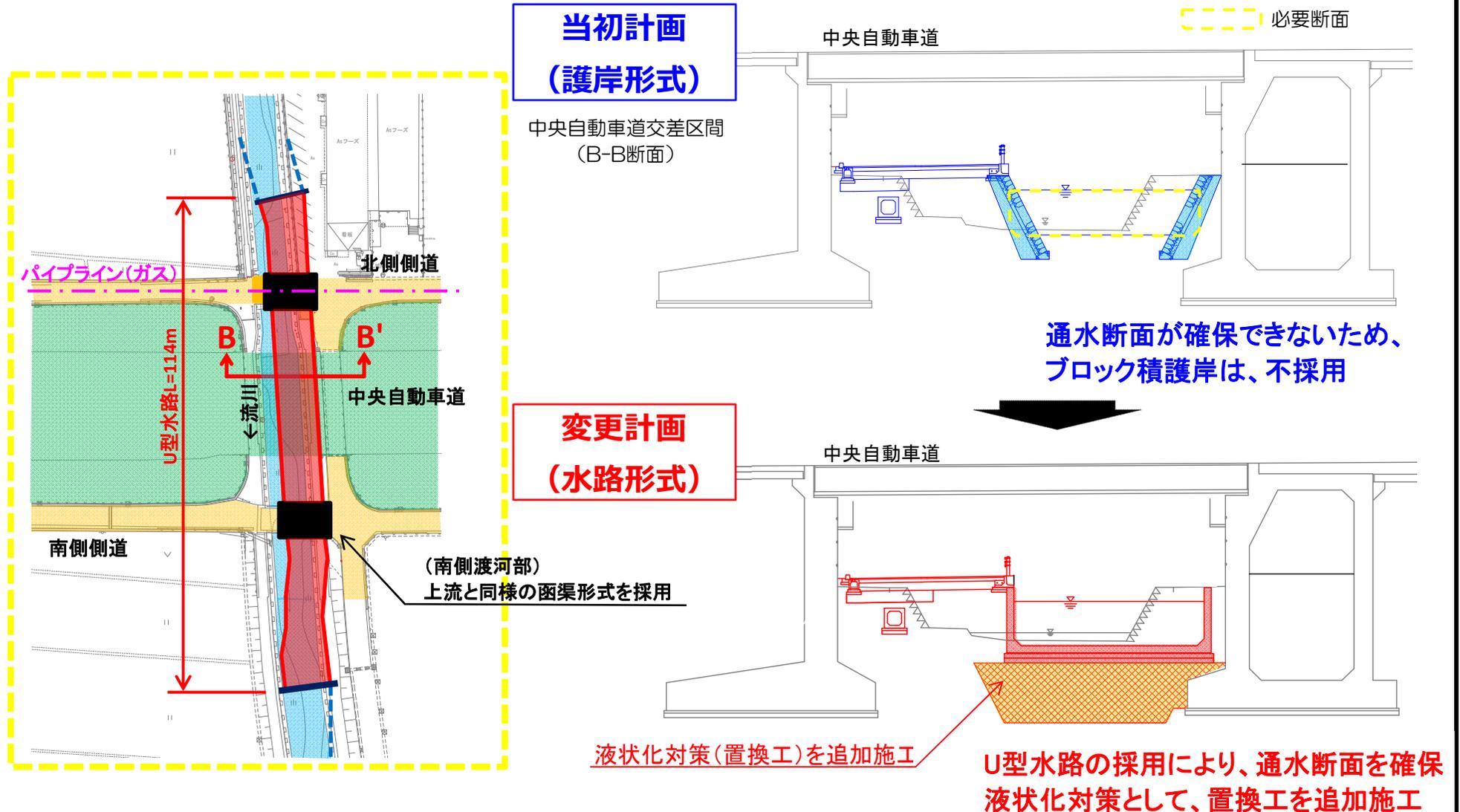


### 3. 添付資料シート (4)

#### 変更内容① 流川付け替えにかかる工事費の増額

#### (2) 河川一般部の構造変更

側道渡河部に函渠構造（ボックスカルバート）を採用したことにより設計対象流量が増加し、ブロック積護岸では通水断面を確保することができなくなったことから、U型水路に変更した。

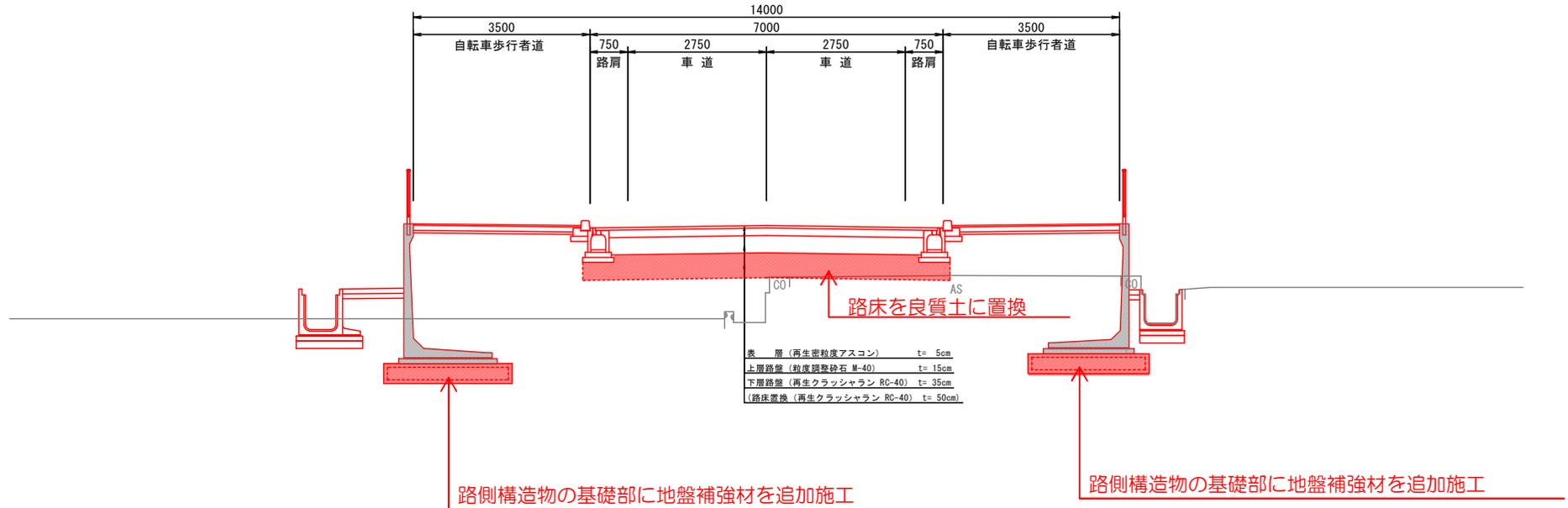


### 3. 添付資料シート (5)

#### 変更内容② 地盤改良工の追加

地質調査の結果から、路側構造物の基礎部や路床に軟弱地盤対策を追加した

中央自動車道南側区間  
(A-A断面)



#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R2	14,199	現地測量・道路設計・用地測量	0.6%
R3	152,769	河川構造物設計・用地補償	6.9%
R4	173,386	用地補償・道路改良工事	14.1%
R5	226,364	用地補償	23.4%
R6	130,000	道路改良工事・流川付替え工事	28.8%
R7	840,000	道路改良工事・流川付替え工事	63.5%
R8	410,000	道路改良工事・流川付替え工事	80.4%
R9	270,000	道路改良工事	91.6%
R10	203,282	道路改良工事・舗装工事	100.0%
合計	2,420,000		